

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

世界遺産・熊野における“癒し・健康を核とした蘇りの地域づくり”

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

田辺市

### 3 地域再生計画の区域

田辺市の全域

### 4 地域再生計画の目標

平成17年5月1日に5つの市町村（田辺市、龍神村、中辺路町、大塔村、本宮町）が合併して新たに誕生した田辺市は、紀伊半島の南西側、和歌山県の南部に位置し、美しい海、山、川の大自然をはじめ、世界遺産に登録された「熊野古道」や「熊野本宮大社」に代表される古い歴史や文化、日本三美人の湯で知られる「龍神温泉」や、日本最古の湯といわれる「湯の峰温泉」など、人々の心と身体を癒す豊かな地域資源に恵まれており、このような歴史や自然を活かした、観光産業や農林水産業を基幹産業として成長してきた。

合併後の総面積 1,027km<sup>2</sup>（東西約 45km、南北約 46km）は、和歌山県全域の約 22%もの広大な市であるが、その9割近くが山林であり、林野面積は 917km<sup>2</sup>に及ぶ。また、産業別就業者割合をみると、第一次産業が 14.4%となっており、全国平均の 5.0%と比較して極めて高く、また和歌山県平均の 10.6%と比較しても農林水産業のウエイトが高い地域であるといえる。

市町村名	面積 (km <sup>2</sup> )	人口 (人)	産業別 就業者割合 (%)			高齢化率	
			1次	2次	3次	H12	H42
旧田辺市	136.42	70,360	14.1%	22.3%	63.1%	20.2%	31.0%
旧龍神村	255.13	4,461	18.7%	29.6%	51.7%	33.9%	35.7%
旧中辺路町	211.95	3,710	20.7%	27.5%	51.6%	35.1%	41.6%
旧大塔村	219.06	3,246	16.4%	24.5%	59.1%	30.8%	30.3%
旧本宮町	204.06	3,869	8.1%	23.5%	68.3%	37.3%	41.1%
田辺市計	1,026.62	85,646	14.4%	23.0%	62.1%	22.7%	31.9%

・ 人口、産業別就業者割合、高齢化率（H12）は、平成12年度実施の国勢調査を基に作成

- ・ 面積は、平成13年10月1日現在
- ・ 高齢化率（H42）は国立社会保障・人口問題研究所の小地域簡易将来人口推計システムを利用し、推計

また、世代別の人口構成については、65歳以上の高齢者比率が22.7%となっており、全国平均の17.3%、和歌山県平均の21.2%と比較して高く、旧田辺市を除けば旧4町村はすべて30%を越えており、全国的にも高齢化が進展している地域といえる。

加えて、少子高齢化、過疎化、人口減少等に伴う社会構造の変化、景気の低迷等、地域産業経済を取り巻く環境は非常に厳しい状態が続き、観光産業においては、観光ニーズの多様化や観光形態の変化による従来型観光産業の停滞、農林水産業においては、後継者不足や従事者の高齢化が一段と厳しく、さらに消費者嗜好の多様化や国際的な競争激化も加わるなど、このままでは主要な地域産業の持続的発展及び雇用情勢の改善が見込めない状況となっている。

#### 旧市町村別人口推移

市町村名	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	
旧田辺市	69,575	70,835	69,859	70,246	70,360	82.2%
旧龍神村	5,353	5,110	4,847	4,642	4,461	5.2%
旧中辺路町	4,636	4,343	4,027	3,863	3,710	4.3%
旧大塔村	3,512	3,351	3,181	3,285	3,246	3.8%
旧本宮町	5,054	4,624	4,229	4,123	3,869	4.5%
田辺市計	88,130	88,263	86,143	86,159	85,646	100.0%

資料：国勢調査

#### 年齢別人口推移

区分	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	全国(H12)
総人口	88,130	88,263	86,143	86,159	85,646	
年少人口 (14歳以下)	20,569 23.3%	19,055 21.6%	16,299 18.9%	14,544 16.9%	13,418 15.7%	14.6%
生産年齢人口 (15～64歳)	56,509 64.1%	56,919 64.5%	55,599 64.5%	54,618 63.4%	52,710 61.5%	67.9%
老年人口 (65歳以上)	11,052 12.5%	12,281 13.9%	14,185 16.5%	16,988 19.7%	19,483 22.7%	17.3%

資料：国勢調査

このような現状を認識したうえで地域再生を図るためには、世界遺産・熊野をはじめとする優位性のある恵まれた地域資源を活かした観光産業振興による交流人口の拡大、就業者

割合が高い農林水産業の高付加価値化、また、人口比率の高い高齢者の知恵や技能を活かしたコミュニティビジネスの創造が重要である。

このことをふまえ、熊野の象徴的な文化である「蘇り」に着目した「癒し・健康を核とした観光交流産業」を創造し、既存の農林水産業や商工業、IT関連産業等、他の地域産業と連携させることで、「健康」を付加価値とした新たな集客や販路開拓、サービス・商品の開発を促進し、複合的・総合的観光産業として新たな産業群を創出し成長させるべく和歌山県、田辺市が一丸となり取り組んでいる。

これを実現し、自立型地域経営基盤を確立するためには、すでに実施又は計画している産業振興施策とともに、新しい産業形態を担う人材の発掘、育成等、雇用創造事業を総合的に実施し地域再生を図る。

#### 目標達成の指標

##### 雇用創造に関する指標（平成21年3月末まで）

###### 地域提案型雇用創造促進事業において

・事業利用企業数の合計	300社
・事業利用求職者数の合計	490人
・事業利用企業における労働者の雇入れ数の合計	70人
・事業利用求職者等の就職件数の合計	120人

## 5 目標を達成するために行う事業

### 5 - 1 全体の概要

新市の将来像「自然と歴史を生かした 新地方都市の創造」は、自然、歴史、文化など人々の心と体を癒す地域資源が豊かな山村地域と、サービス、交通・情報通信など県南部の中核的機能を備えている都市的地域が、一体化することによって、住民一人ひとりの価値観に応じたより良い生活をおくることができる新しい地方都市を創造しようとするものである。

この将来像を実現するためには、「観光グレードアップ・プロジェクト」「第1次産業を核とした定住促進プロジェクト」「公益を担う官民協働プロジェクト」の3つの柱からなり、産業経済や地域の活性化、そして、その成果が就労場所の拡充や若者等の定住につながることを目的とした「新市“創造”プロジェクト」が重要となる。

これらのプロジェクトを実施するとともに、この施策を効果的に実施するための雇用面の課題を解決する「地域提案型雇用創造促進事業」を並行して実施し、目標の達成を図る。

## 5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

該当なし

## 5 - 3 その他の事業

### 5 - 3 - 1 地域提案型雇用創造促進事業

当事業については、田辺市、田辺商工会議所、本宮町商工会、田辺市熊野ツーリズムビューロー、和歌山県、和歌山大学、財団法人和歌山健康センター、特定非営利活動法人和歌山観光医療産業創造ネットワーク、特定非営利活動法人熊野本宮、JTBヘルスツーリズム研究所で構成する田辺市雇用創造促進協議会にて事業を実施する。

#### 事業内容

#### (1) ビジネスプラットフォーム(着地型エージェント)創造育成事業

健康・癒しをキーとした高付加価値総合・複合型観光産業の創造発展を可能にする、総合的着地型エージェント機能を有したビジネスプラットフォームを創造育成する。

ビジネスプラットフォームの中核的人材の発掘・誘致・募集活動

#### (2) 高付加価値型観光人材育成事業

総合・複合的観光産業の中核と位置づける「癒し・健康を核とした観光交流」サービスへの対応や、今後増加する高齢者や外国人観光客への対応を可能とし、職業人として質の高いサービスを提供できる人材育成をする。

熊野セラピスト育成研修

トラベルケアスタッフ育成研修

外国人観光客支援人材育成研修

#### (3) 地域経営力向上事業

雇用創造に資する新事業展開や既存事業拡大をおこなう事業者を育成し、地域の経営力の向上を図る。また、既存従業員及び求職者を対象とした研修等も実施し、雇用の安定・向上、雇用のミスマッチの解消を図る。

経営者・創業者向け地域経営力向上セミナー

従業員・求職者向けスキルアップセミナー

従業員・求職者向けスキルアップ研修

#### (4) WEB活用情報提供相談事業

WEBサイトを開設し、創業者等や求職者に対する情報提供・相談、UIJターン促進のための情報提供・相談など効果的な広報活動等を実施する。

## 5 - 3 - 2 田辺市で行う事業

### ( 1 ) 観光グレードアッププロジェクト

観光メニューの充実、地域連携強化、受け入れ体制の充実、観光情報発信の強化を行い、観光地としてのブランド強化を目指す。

主な具体的事業

観光振興基金創設及び広域観光振興戦略体制構築

観光グレードアッププロジェクトを推進していくための基金を平成17年に創設、平成18年度は、旧5市町村の観光協会からなる協議会を、「田辺市熊野ツーリズムビューロー」として事務局機能を行政から分離独立させ、世界遺産・熊野を中心とした誘客、外国人観光客対策等を主軸に、民間団体の利を活かした戦略的な活動を展開していく。

地域特産品活性化推進事業費補助金

観光との連携により田辺市の特産品や観光資源を広く全国にPRし、田辺市ブランドを確立することを目的に、市内各特産品の発掘、調査研究開発、販路開拓を支援する。

### ( 2 ) 公益を担う官民協働プロジェクト

官民協働意識の醸成、活動団体の支援、コミュニティビジネス支援、人材育成と人的交流拡充の支援を行い、協働のまちづくりを目指す。

主な具体的事業

商店街活性化総合支援事業補助金

商店街等の環境整備又は商店街等のイメージアップによる商店街の活性化を図ることを目的に、商店街等が行う施設整備事業及びソフト事業に対し補助を行う。

田辺市雇用促進奨励金補助金

雇用促進、経営の安定と健全な発展及び従業員の福祉の増進を図ることを目的に、高年齢者・障害者その他就職が特に困難な者を雇用した場合に奨励金を交付する。

### ( 3 ) 熊野健康村構想推進事業

世界遺産となった熊野の「蘇り」の文化に着目し、現代人のための心身再生の地として、地域資源を予防医療や癒し・健康づくりに活用し、「蘇りの聖地・熊野」のブランド化、交流人口の拡大、健康と観光を融合させた新産業の創造により、地域活性化を図る。現在、田辺市本宮町をモデルエリアとして、癒し・健康サービスの創造と集積を進めている。また、熊野古道の健康効果の実証研究や熊野古道健康ウォークの実施など、予防医療と観光を結びつけたユニークなプログラムづくりを和歌山県と共同

で推進している。

《主な具体的事業》

高付加価値型ビジネス創出支援

熊野古道ウォークを中心とした健康プログラムの開発・実施、癒し・健康関連商品開発などへの助成

熊野の地形を活用した健康効果に関する調査研究

熊野の森住民制度（顧客管理システム）の構築

広報、PR活動

「熊野で健康ドットコム」の運営、各種展示会への出展や広報活動などを実施

6 計画期間

地域再生計画認定の日～平成21年3月末

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

雇用創出についての計画目標として、事業利用企業数、事業利用求職者数、事業利用企業における雇用者数、事業利用求職者の就職件数を設定し、毎年度、利用者へのアンケートを行い、それぞれの項目について評価する。

また、観光振興による入込客数、売上高、及び企業誘致による地域への経済効果等についても適宜調査し評価をおこなう。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

特になし。